

◆
—————
日本防菌防黴学会 第 50 回年次大会に出展します
—————
◆

ロンザ株式会社 バイオサイエンス事業部は、千里ライフサイエンスセンターで開催されます「日本防菌防黴学会 第 50 回年次大会」に企業出展いたします。ブースでは専任のスタッフがご説明いたしますので、この機会にぜひご来場願います。

== 「日本防菌防黴学会 第 50 回年次大会」概要 == [->年次大会サイトはこちら](#)

- 会期：2023 年 8 月 29 日（火）～8 月 30 日（水）
- 会場：千里ライフサイエンスセンター 6 階 D 会場(604 号室)/ 小間番号：7
([アクセスはこちら](#))

■ **展示内容：これまでのエンドトキシン試験と PyroCell[®] MAT システム**

新技術の In vitro Pyrogen 試験である Monocyte Activation Test (以下、MAT)法は、動物を使用した試験の代替法として、発熱性物質をヒト In vitro システムで検出する試験です。

MAT は国際的なバリデーションに従い、また動物福祉である 3R に大きく寄与する試験法として 2010 年に欧州薬局方（EP）に導入されています。また、欧州医薬品医療品質部門（EDQM）はウサギを使用したパイロジェン試験を 2026 年には完全に終了すると発表しており、今後ウサギを使用したパイロジェン試験から MAT へ代替は一段と加速していくことが予想されています。

更に EP は、ワクチン製剤における Low Endotoxin Recovery(LER)(製品サンプル中のエンドトキシンが実際よりも低い値で測定されてしまう) 問題が指摘されている事から、ワクチン製剤の安全性リスクマネジメントとして、MAT とエンドトキシン試験 の両試験結果を確認し、パイロジェン試験もしくはエンドトキシン試験を選択する事を提案しています。

そこで私たちロンザは数十年にわたるエンドトキシンの専門知識を活かし、新たな規制環境に準拠したパイロジェン試験 PyroCell[®] MAT システムをご提案します。

- **参加登録**：大会当日に受付にてご登録ください。（事前参加申込は実施しておりません）

以上